

[PR] 審査が悩み？簡単お借入れ診断、カードローン比較

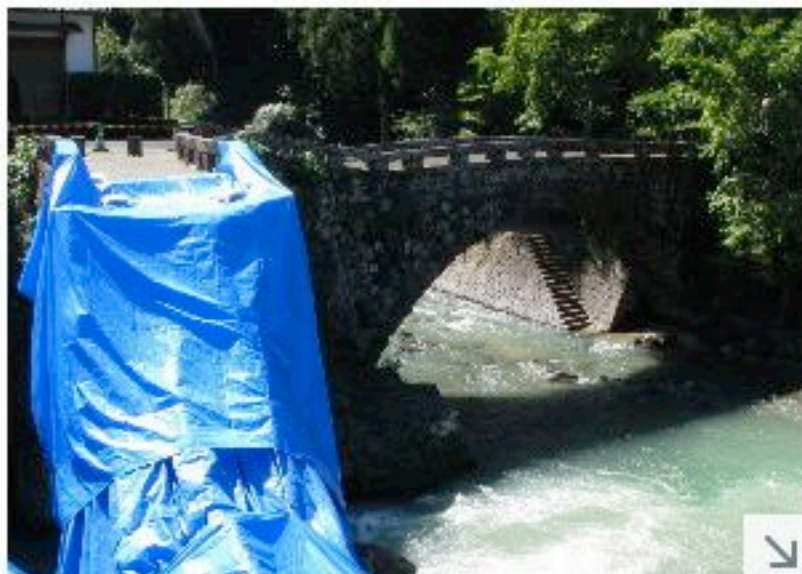
今、被災地は

他の連載記事はこちら >

熊本地震から半年／4 文化財 崩れた「恋人の聖地」 渡りに船「町道」で復旧 /熊本

毎日新聞 2016年10月12日 地方版

熊本県 >



右側の橋のアーチ部分に当たる太陽光が何とか「ハート形」に見えている。左側の橋は、熊本地震で半壊し、ブルーシートがかけられている

10月から2月にかけて正午直前の約30分間、橋の影がハートの形に見えることから「恋人の聖地」とも呼ばれる美里町の二俣橋。秋晴れの祝日となった10日、佐賀県から来た20代のカップルがいた。「インターネットで見た画像ほどくっきりしたハートではなかったけれど、見ることでよかったです」

二俣橋は川の合流地点にあり、全長約30メートルの二つの橋がL字形につながっている。熊本地震で、ハートを作り出す側の橋は

ほぼ無事だったが、もう片方の橋は半分近くが崩れた。実はこの崩れた橋の中央付近こそが、最もきれいなハート形を見ることのできるベストポジションだった。しかしブルーシートがかけられて立ち入り禁止。佐賀県のカップルも橋のたもとから見るしかなかった。

美里町には江戸時代以来の石橋が多数残る。二俣橋（1829、30年建造）もその一つで、町指定の重要文...

